

## I. 2020 年度事業報告

2020 年度の事業計画に基づき、人物交流活動並びに国際化・国際交流に関する啓発広報活動の他、九州・沖縄・山口地域における諸団体の国際交流事業に対し、後援・助成などの事業を行いました。

ただし、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、計画していた事業の一部を中止、あるいはオンラインによる代替実施としたほか、外部の各団体の活動も計画どおりの実施ができなかったことに伴い、当財団の助成・協賛等の件数・金額も大きく減少しました。

こうしたなか、財団設立 15 周年にあたる 2000 年 3 月から開始した「西日本国際財団アジア貢献賞」は、今回で 22 回目となる授賞式を開催しました。併せて、財団設立 20 周年記念特別表彰として創設した、次代を担う子供たちの国際交流を支援するための「西日本国際財団アジア Kids 大賞」は、今年度から表彰の対象となる活動を従来の小・中学生から高・大学生にまで拡大すると共に、名称を「アジア未来大賞」に改称し、今回で通算 16 回目となる授賞式を行いました。両賞共に、今回から自薦も可とする公募方式に変更したこともあり、特に「アジア未来大賞」の応募件数は、前年度の 3 件から 8 件に大きく増加しました。

以下、事業内容をご報告いたします。

### 1. 人物交流事業

#### (1) 福岡在住、来訪の諸外国人との交流

ア. 福岡在住の外国人間の交流活動を活発に行うため、国際相互理解促進と今後の多国間の交流促進についてリーダーとなるべき人たちのネットワーク作りを行い、地域一体となって問題解決や交流活動を進める交流会「国際交流クラブ」をオンラインツール「ZOOM」を利用し、2020 年 7 月と 2021 年 3 月の 2 回開催致しました。

(ア) 第1回例会(2020年7月28日開催)「折り紙体験」(オンラインによる開催)

講師：宮本 真理子 氏(日本折紙協会講師)

参加者：15名(福岡県留学生会(FOSA)および九州大学留学生会(KUFSA)会員)

(イ) 第2回例会(2021年3月19日開催)「曼荼羅アート」(オンラインによる開催)

講師：松尾 まさこ 氏(マルチアーティスト)

参加者：20名(福岡県留学生会(FOSA)および九州大学留学生会(KUFSA)会員)

(2) 福岡在住の外国人留学生と元留学生及びその家族との交流を深めるため、福岡県留学生会、九州大学留学生会等に対する支援を継続するとともに、外国人留学生のための茶道教室を年間で計4回開催しました。

## 2. 国際化啓発広報事業

(1) 国際化・国際交流に関する意識高揚

ア. 顕彰制度の実施

第22回「西日本国際財団アジア貢献賞」の授賞式を2021年3月2日に開催致しました。※授賞式は新型コロナウイルス感染予防のため受賞者及び財団関係者のみで開催(参加者約35名)

九州・沖縄・山口地域の15の団体・個人の候補者の中から、候補者選考委員会、審査委員会での審査の結果、「NPO 法人国際ボランティア IMAYA」、「砂川 元」氏、「日韓障害者交流協会」の3団体・個人を表彰しました。

また、同日に第16回「西日本国際財団アジア未来大賞」の授賞式を開催し、九州・沖縄・山口地域の8の団体・個人の候補者の中から、「上毛町」、「長崎親善人形の会(瓊子の会)」の2団体を表彰いたしました。

(2) 地域国際交流イベント参加による国際協力及び地域寄与

ア. 「第32回アジア太平洋子ども会議・イン福岡」への協賛(予算額600千円)→中止  
NPO アジア太平洋子ども会議・イン福岡が主催する事業のひとつ、「ブリッジチ

チャレンジトリップ 2021」に協賛する計画でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大によりアジア各国への子ども達 30 名の派遣が中止となったため、協賛は行いませんでした。

イ. 「アジアフォーカス・福岡国際映画祭 2020」への協賛(予算額 800 千円)→中止  
毎年 9 月のアジアンパーティ期間中に開催される地域イベントの 1 つとして、地域社会への貢献目的で毎年参加していましたが、2020 年度は新型コロナの影響により事業内容が縮小されたことから、同映画祭事務局より協賛申込を辞退する旨の申し出があったため、協賛は行いませんでした。

ウ. 国際協力フェスタ「地球市民どんたく」への協賛(予算額 200 千円)→中止  
毎年 11 月に、福岡を拠点として国際協力、国際交流等の活動を行う NPO 法人等の運営により、福岡在住の外国人等も多数参加し、市民に多文化を体験してもらうことを目的に開催されるイベントであり、例年協賛していましたが、2020 年度は新型コロナの影響により開催中止となったため、協賛は行いませんでした。

エ. 「第 11 回日本語おしゃべり発表会」への協賛(予算額 200 千円)  
(助成申請額 150 千円)→実施

北九州市に暮らす者同士の相互理解と多文化共生社会の推進を図ることを目的として、北九州市内および近郊在住の外国人市民が日本語によるスピーチを行う「第 11 回日本語おしゃべり発表会」に協賛しました。

- ① 実施時期 2021 年 2 月 21 日(日)
- ② 会場 なし(出場者自身が撮影したスピーチ動画でのビデオ審査)
- ③ 内容 市民センター等を拠点とする市内 17 ヶ所及び北九州近郊の日本語教室で学習する外国人市民が、個々の日本語レベルで自由に意見を発表する場を提供し、学習のモチベーション向上に繋げるとともに、日本人市民が外国人市民の声を聴く機会とするもの。
- ④ 観覧 同協会 HP にて公開
- ⑤ 出場者 16 名(北九州市及びその近郊に在住する外国人市民)
- ⑥ 表彰 審査委員の採点により 5 名を表彰
- ⑦ 主催 公益財団法人北九州国際交流協会

### 3. 国際化助成事業

以下の国際交流事業について、その主催団体に対し所要資金の一部助成・後援を行いました。

